



株式会社 サンウェルズ  
SUNWELS

# 2025年3月期 第1四半期 決算説明資料

サンウェルズはパーキンソン病専門施設「PDハウス」をはじめとした事業展開により、医療・介護を中心とした社会課題を解決し、持続可能な社会の実現を目指します

2024年8月8日



# 東証プライム市場への上場市場区分変更

## ■ 2024年7月18日 東京証券取引所グロース市場からプライム市場へ市場区分の変更

証券コード	9229
オファリング形態	国内自己株式処分及び株式売出し（旧臨時報告書方式）
募集株式数	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 募集株式数 : 4,025,000株</li> <li>－ 自己株式処分 : 2,000,000株</li> <li>－ 株式売出し : 1,500,000株</li> <li>－ オーバーアロットメントによる売出し : 525,000株</li> </ul>
オファリングスケジュール	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 決議日・プライム市場上場承認日 2024年7月 2日（火）</li> <li>■ ブックビルディング期間 2024年7月 5日（金）～10日（水）</li> <li>■ 条件決定日 2024年7月10日（水）</li> <li>■ 募集期間 2024年7月11日（木）～12日（金）</li> <li>■ 払込期日 2024年7月17日（水）</li> <li>■ 受渡期日・プライム市場上場日 2024年7月18日（木）</li> </ul>
資金使途	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. PDハウス8施設の新設のための設備投資資金の一部：1,987,140,000円</li> <li>2. PDハウス40施設の家具・家電・備品等：2,558,000,000円</li> </ol>
主幹事証券会社	野村證券株式会社

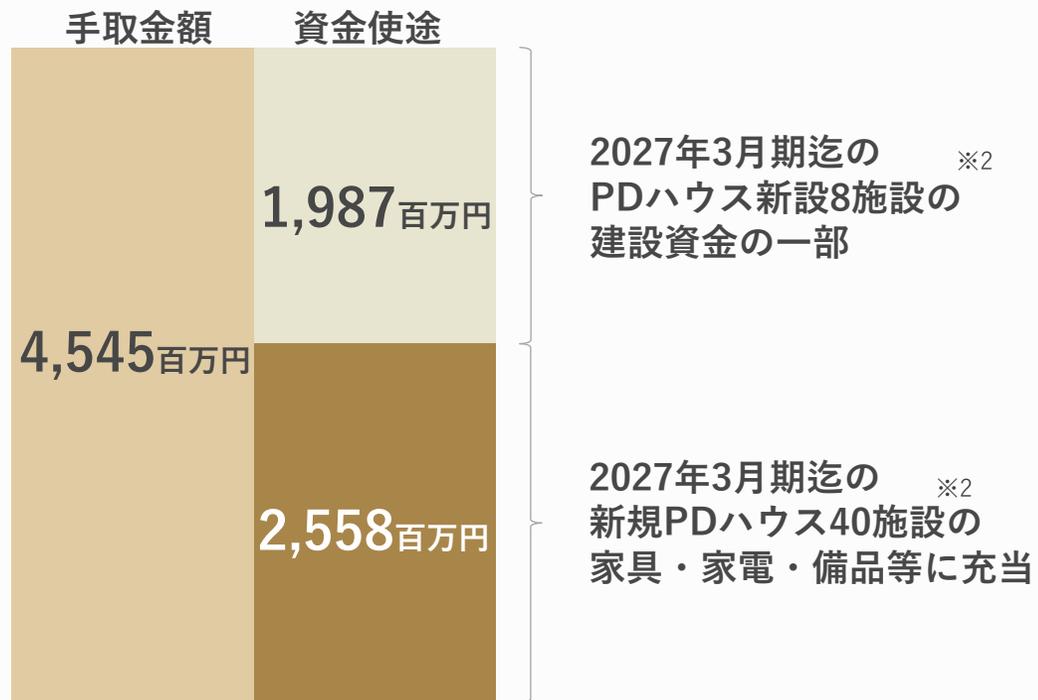




# 自己株式処分及び株式売出し<sup>※1</sup>の目的と資金使途

## ■ 自己株式処分の目的及び資金使途

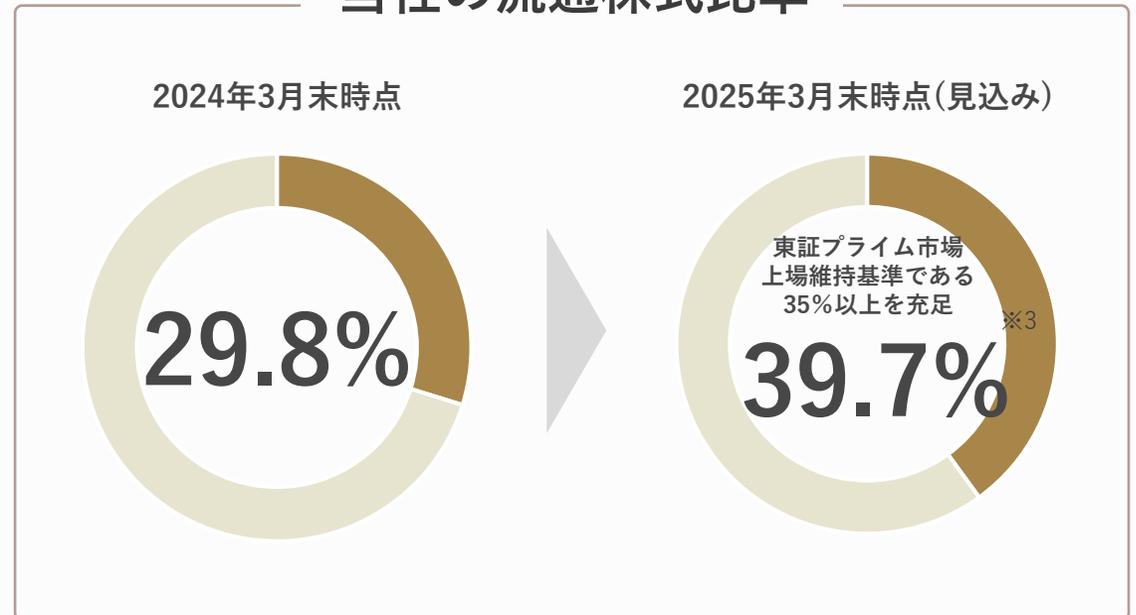
PDハウス運営開始から約5年経過し、開設をはじめ集客、採用、教育の各分野において体制が強化された背景を鑑み、**高品質な施設運営及び新規開設を今後加速させる**ことを目的に本資金調達を実施



## ■ 株式売出しの目的

東証プライム市場の上場維持基準に適合する目的に加え、当社株式が市場において投資対象として十分な流動性を確保することを目的に本株式売出しを実施

## 当社の流通株式比率



# I. 2025年3月期第1四半期決算概況

## II. 今後の見通し

## III. 会社概要



# 決算概況 決算サマリー（第1四半期）

## ■ パーキンソン病に特化した在宅訪問看護開始（16～18頁記載）

- ・ 札幌、福岡の2ヶ所で在宅訪問看護事業を開始
- ・ 全国19ヶ所で在宅療養者向け訪問看護事業を開始予定

## ■ 計画通りPDハウス4施設開設、合計で35施設運営（8頁記載）

- ・ 4月開設：PDハウス国立（50床）
- ・ 5月開設：PDハウス太平（60床）、PDハウス陣原（60床）
- ・ 6月開設：PDハウス東大宮（60床）
- ・ 待機者 200名 ⇒ 300名 ⇒ 370名 に  
(23年6月末) (24年3月末) (24年6月末)

## ■ 入居者QOL向上への取り組み（15頁記載）

- ・ 2024年4月より全施設で食事品質の向上、温冷配膳車の導入を実施
- ・ 2024年5月より栄養管理士「山口 美佐」氏とのアドバイザー契約を締結

## ■ 教育体制の継続強化（19～20頁記載）

- ・ 2025年3月期新規開設12施設のリーダー層（施設長、主任）36名は既に充足
- ・ PDライセンス3級取得者数847名（2024年3月末）⇒ 1,485名（2024年6月末）



# 決算概況 予算実績比較

■ PDハウスのドミナント展開・全国で専門医のウェビナー開催により、集客・稼働が好調

(単位：百万円)

	2025/3期 1Q予算 (売上高比)	2025/3期 1Q実績 (売上高比)	予算実績 差異	予算達成率
売上高	6,324 (100.0%)	<b>6,636</b> (100.0%)	+312	104.9%
EBITDA	1,100 (17.4%)	<b>1,255</b> (18.9%)	+154	114.0%
営業利益	813 (12.9%)	<b>981</b> (14.8%)	+167	120.6%
経常利益	622 (9.8%)	<b>818</b> (12.3%)	+196	131.5%
四半期純利益	412 (6.5%)	<b>520</b> (7.8%)	+108	126.3%



# 決算概況

## 通期業績予想の四半期分解（2024年5月開示）

### ■ 新規施設の集客好調により売上・利益ともに通期進捗率は予算を上回る

(単位：百万円)

	2025/3期 1Q予算		2025/3期 1Q実績		2025/3期 2Q予算			2025/3期 3Q予算			2025/3期 4Q予算			2025/3期 通期業績予想
売上高	6,324		6,636		6,950			7,520			8,012			28,807
通期進捗率	22.0%		23.0%		24.1%			26.1%			27.8%			100.0%
EBITDA	1,100		1,255		1,424			1,762			2,005			6,293
通期進捗率	17.5%		19.9%		22.6%			28.0%			31.9%			100.0%
営業利益	813		981		1,074			1,372			1,600			4,860
通期進捗率	16.8%		20.2%		22.1%			28.2%			32.9%			100.0%
経常利益	622		818		836			1,161			1,385			4,006
通期進捗率	15.5%		20.4%		20.9%			29.0%			34.6%			100.0%
四半期(当期)純利益	412		520		555			768			891			2,627
通期進捗率	15.7%		19.8%		21.1%			29.3%			33.9%			100.0%
月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	通期	
PDハウス開設施設数	1	2	1	—	1	2	2	1	1	1	—	—	12	



# 決算概況 前年同期比較

## ■ 営業利益は前年同期比53.8%増

(単位：百万円)

	2024/3期 1Q実績 (売上高比)	2025/3期 1Q実績 (売上高比)	増減額	増減率
売上高	4,625 (100.0%)	<b>6,636</b> (100.0%)	+2,011	+43.5%
EBITDA	800 (17.3%)	<b>1,255</b> (18.9%)	+454	+56.8%
営業利益	637 (13.8%)	<b>981</b> (14.8%)	+343	+53.8%
経常利益	548 (11.9%)	<b>818</b> (12.3%)	+270	+49.3%
四半期純利益	397 (8.6%)	<b>520</b> (7.8%)	+122	+30.9%
PDハウス施設数	25施設	<b>35施設</b>	+10施設	+40.0%



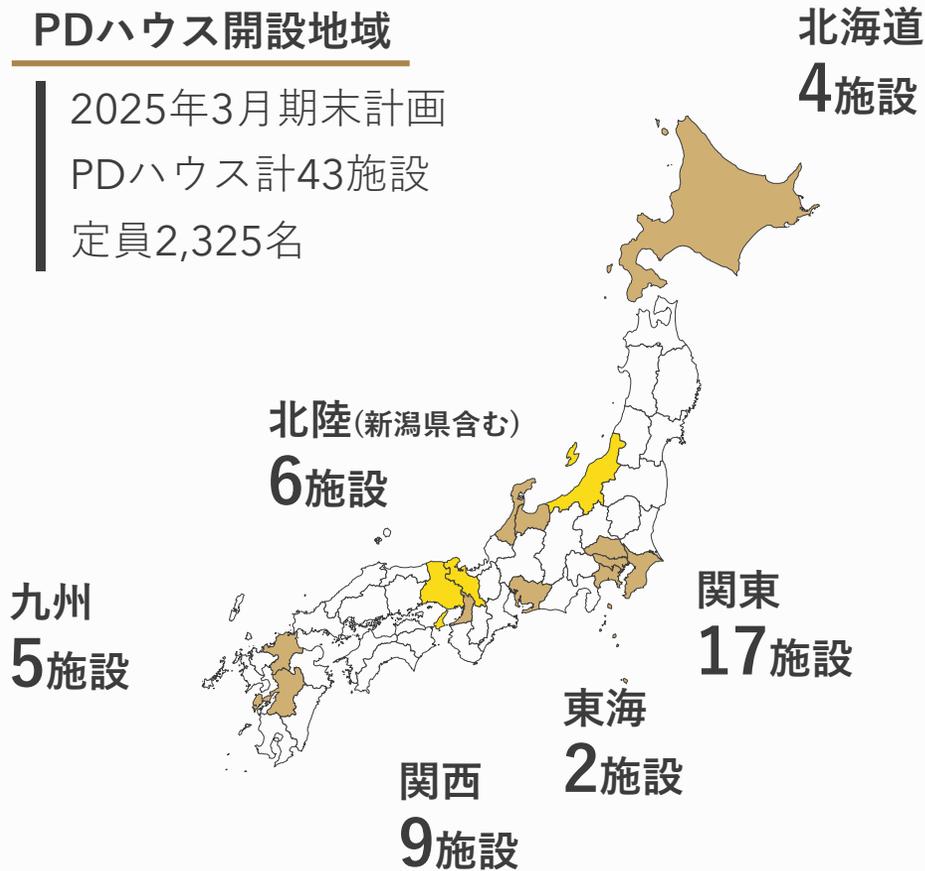
# 決算概況

## 2025年3月期開設計画

### ■ 第1四半期はPDハウス4施設開設、合計35施設を運営

#### PDハウス開設地域

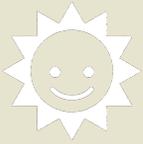
2025年3月期末計画  
 PDハウス計43施設  
 定員2,325名



2025年3月期は関東(5)・関西(3)でドミナント展開  
 新たに京都府・兵庫県・新潟県へ開設

No	開設予定時期	都道府県	名称	形態 <sup>※</sup>	定員数 (名)	稼働率 24.6末
1	2024年 1Q	4月 東京都	国立	建貸	50	80%
2		5月 北海道	太平	自社建築(借地)	60	50%
3		5月 福岡県	陣原	自社建築(借地)	60	50%
4		6月 埼玉県	東大宮	建貸	60	42%
5	2024年 2Q	8月 千葉県	八千代中央	自社建築(借地)	60	—
6		9月 千葉県	南柏	自社建築(借地)	60	—
7		9月 愛知県	熱田	自社建築(借地)	50	—
8	2024年 3Q	10月 新潟県	新潟紫竹山	自社建築(借地)	54	—
9		10月 京都府	西京極	自社建築(借地)	55	—
10		11月 兵庫県	神戸深江本町	建貸	49	—
11		12月 大阪府	初芝	自社建築(借地)	52	—
12	2025年 4Q	1月 埼玉県	越谷	建貸	65	—

合計 675



# 決算概況

## PDハウス稼働率<sup>※1</sup>・入居者数推移

### ■ 既存施設稼働率・新規施設集客ペース共に好調、待機者<sup>※2</sup>は370名に

#### 2024年3月期

区別	施設数	定員数 (名)		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	通期 平均
既存PDハウス (2023.3までの開設施設)	20	1,047	稼働率	91%	93%	94%	94%	95%	95%	95%	96%	96%	97%	97%	97%	95%
			入居者数	947	967	986	987	992	997	993	1,005	1,001	1,017	1,014	1,017	994
新規PDハウス (2023.4以降開設施設)	9	499	稼働率	42%	55%	59%	68%	65%	60%	56%	59%	62%	69%	75%	82%	65%
			入居者数	50	66	99	114	140	167	221	265	307	342	373	407	213
開設施設数				2	-	1	-	1	1	2	1	1	-	-	-	

#### 2025年3月期

区別	施設数	定員数 (名)		4月	5月	6月	1Q 平均
既存PDハウス (2024.3までの開設施設)	31	1,650	稼働率	93%	93%	94%	93%
			入居者数	1,528	1,531	1,558	1,539
新規PDハウス (2024.4以降開設施設)	4	230	稼働率	52%	44%	54%	50%
			入居者数	26	74	125	75
開設施設数				1	2	1	

待機者300名<sup>(24年3月末)</sup>から

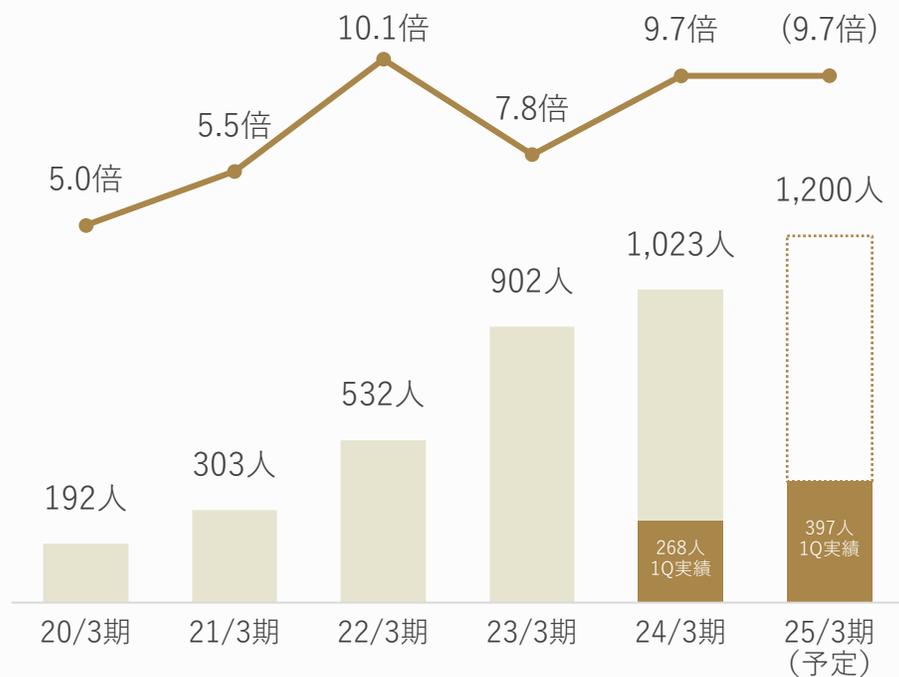
370名超へ



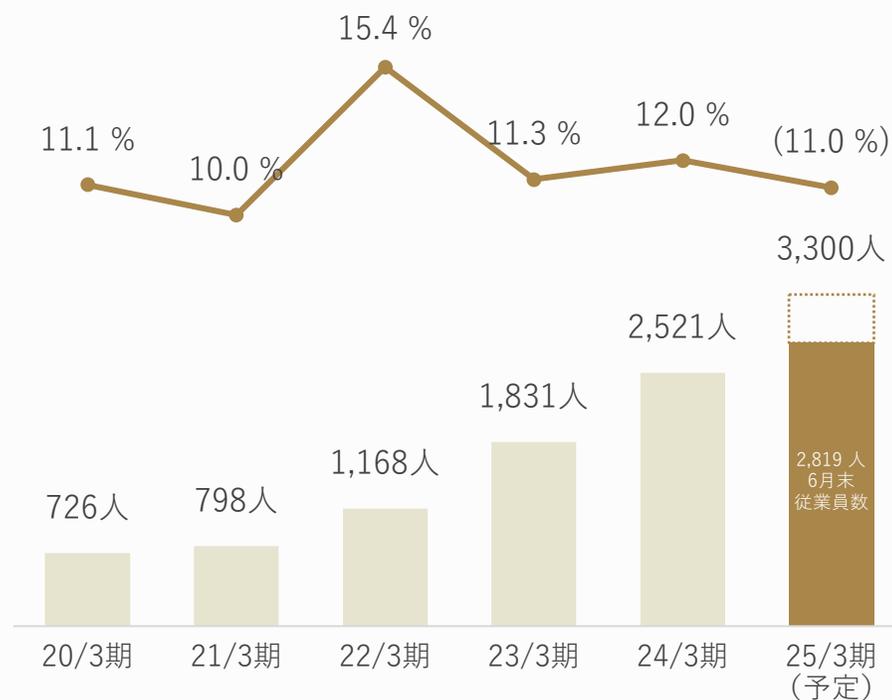
# 決算概況 採用計画

- 1Q採用者数は397人、内リファラル採用76人(前期1Q268名採用、内リファラル採用54人)
- リファラル採用の比率は約20%

### 新規採用者数/採用倍率 <sup>※1</sup>



### 期末従業員数/離職率 <sup>※2</sup>

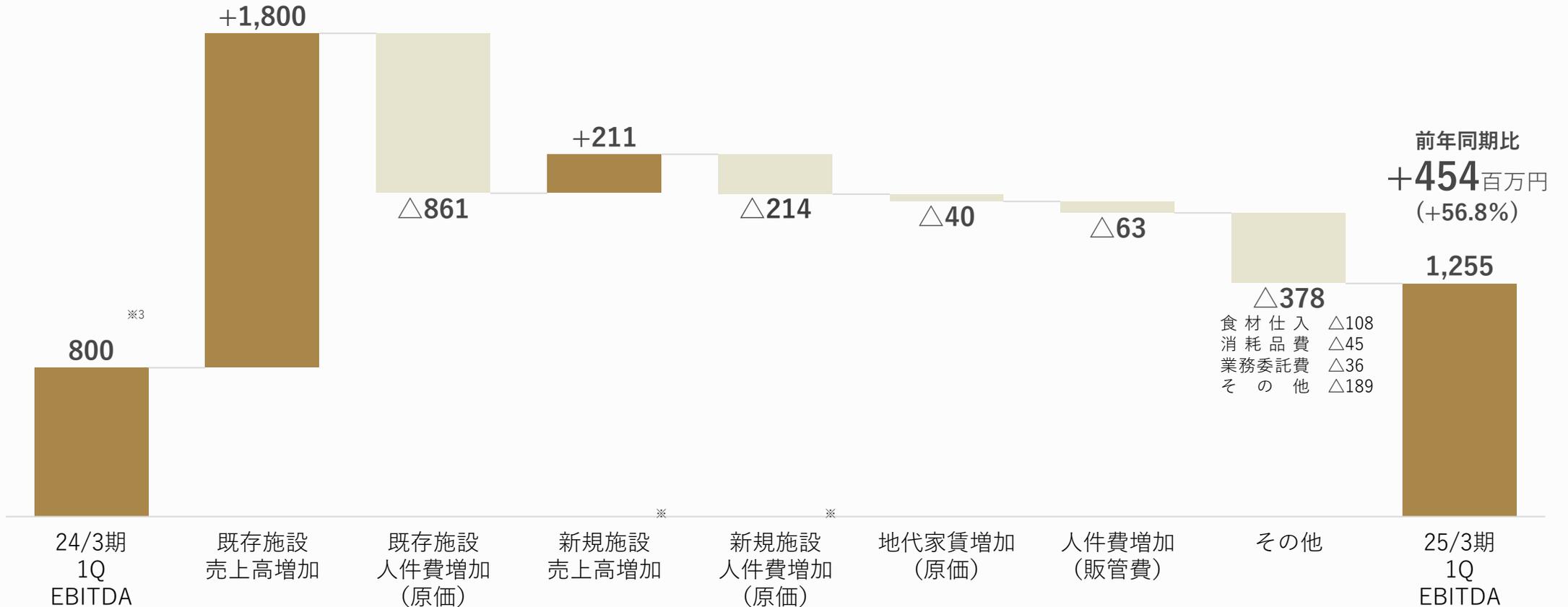




# EBITDA増減要因

## ■ PDハウスの施設数増加・早期安定稼働に伴い、EBITDAは前年同期比1.5倍

(単位：百万円)

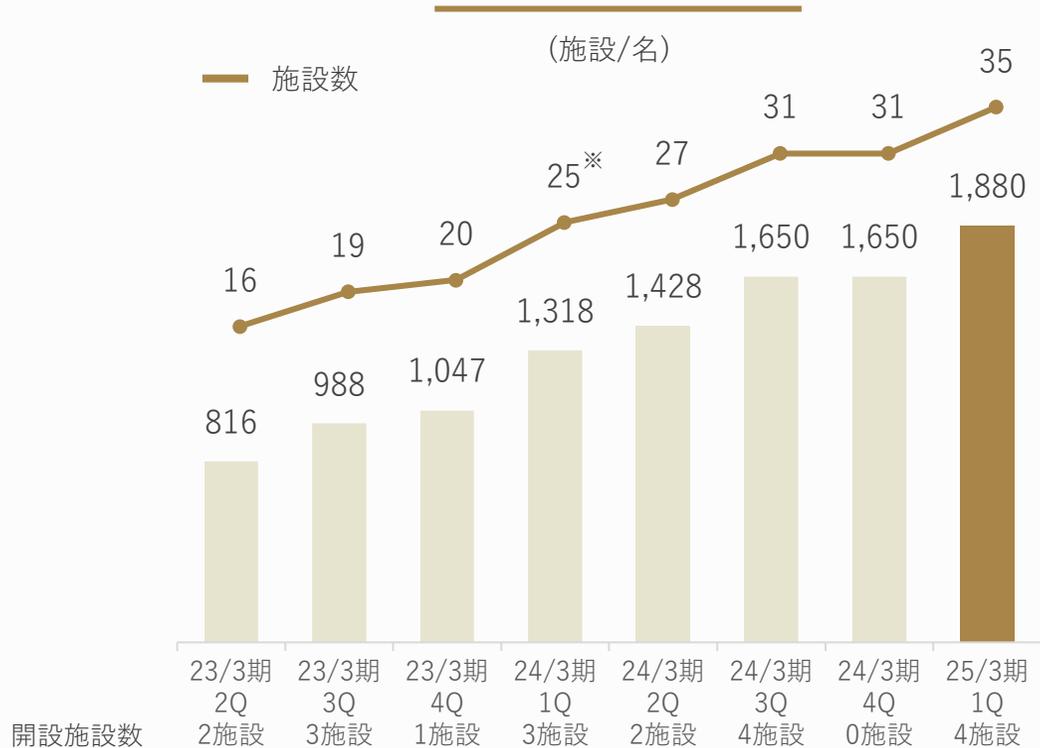




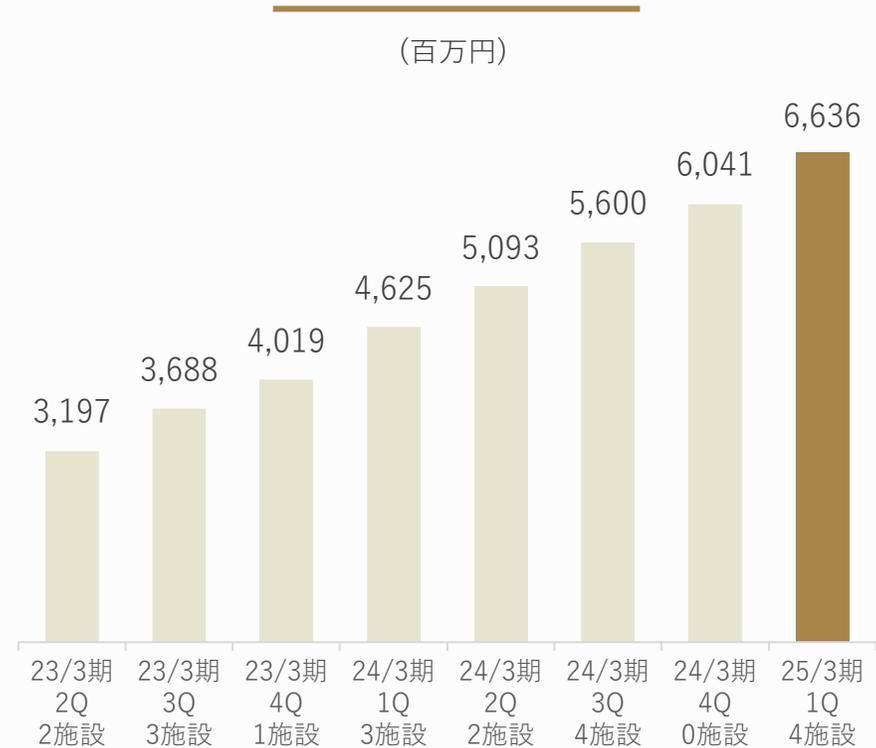
# 四半期業績推移

■ 定員数・売上高は共に四半期毎で着実に増加

### PDハウス施設数/定員数



### 売上高



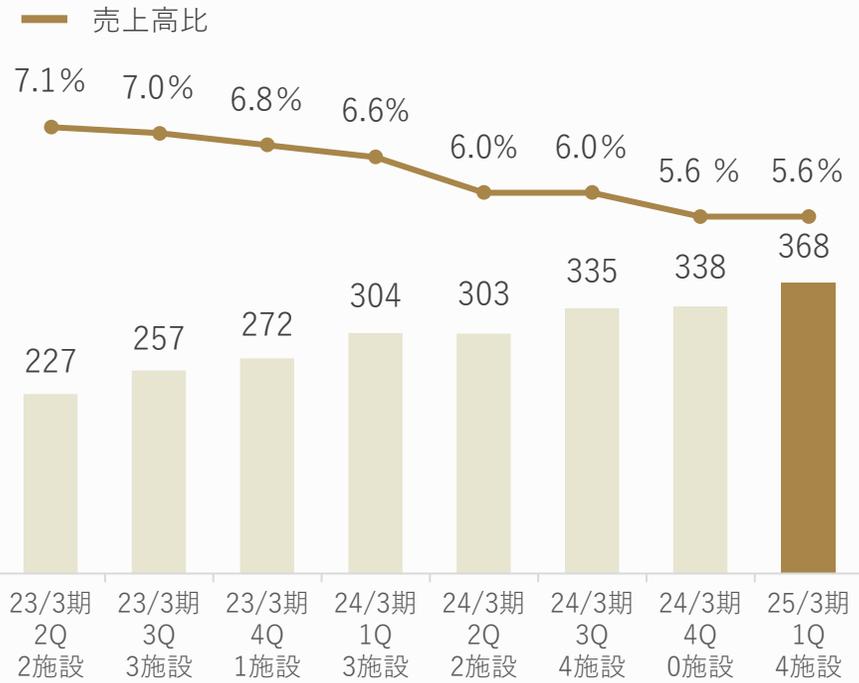


# 四半期業績推移

■ 営業利益は期初予算を上回って着地、今後の施設増加に向けた取り組みにより営業利益率は一時的に鈍化（14頁詳細）

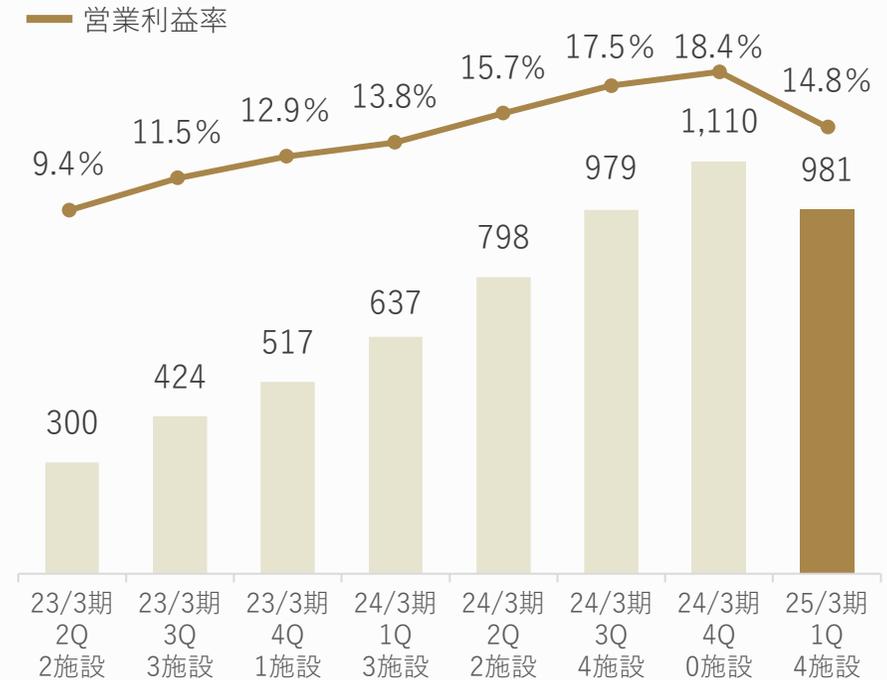
### 管理部門人件費(販管費)

(百万円)



### 営業利益

(百万円)

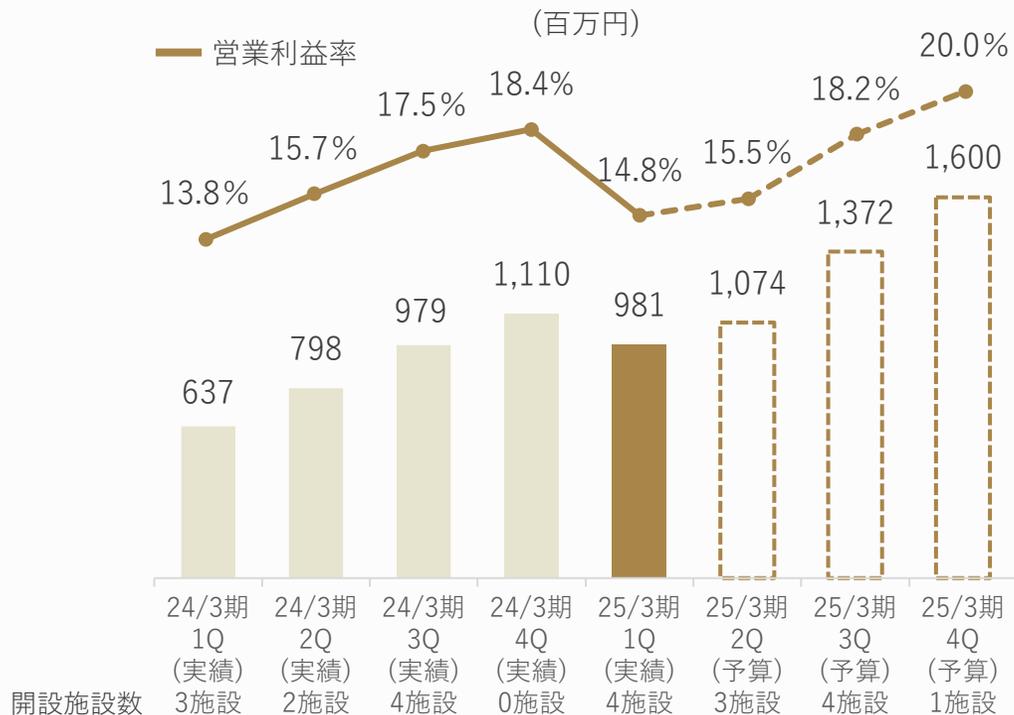




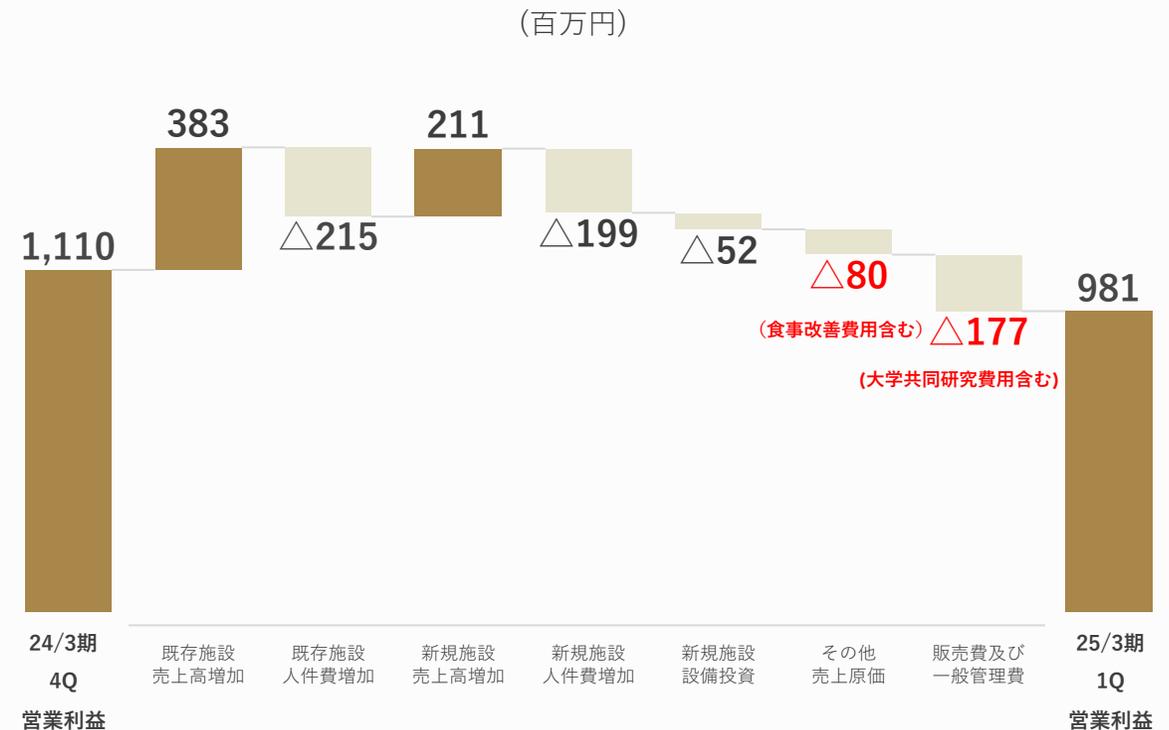
# 営業利益率詳細

■ 入居者のQOL向上を目指した食事改善費用(15頁詳細)と大学との共同研究費用により営業利益率は一時的に鈍化するものの、下期に向け向上を計画

## 営業利益



## 営業利益増減要因





# 入居者のQOL向上への取り組み（食事品質向上）

■ 今後の施設増加を見据え入居者QOL向上への取り組み  
食事の品質向上に伴う3つの施策を実施し、顧客満足度及び更なる集客力向上へ

## ① 温冷配膳車の導入



※イメージ

2024年4月より順次施設に配置

### 〈取り組み内容〉

温かい食事は温かいまま、冷たい食事は冷たいまま、できたての温度を守り、おいしくいただけるように提供

## ② メニュー・食材の改善



2024年4月より順次全施設の食事品質の向上により入居者のQOL上昇に寄与

### 〈取り組み内容〉

毎日の食事が楽しみとなるように食材やメニューの充実を図り、季節の行事食なども提供

## ③ 管理栄養士との アドバイザリー契約締結



2024年5月より栄養管理士「山口 美佐」氏とのアドバイザリー契約を締結

※自身もパーキンソン病を患いながら管理栄養士として活動中

### 〈取り組み内容〉

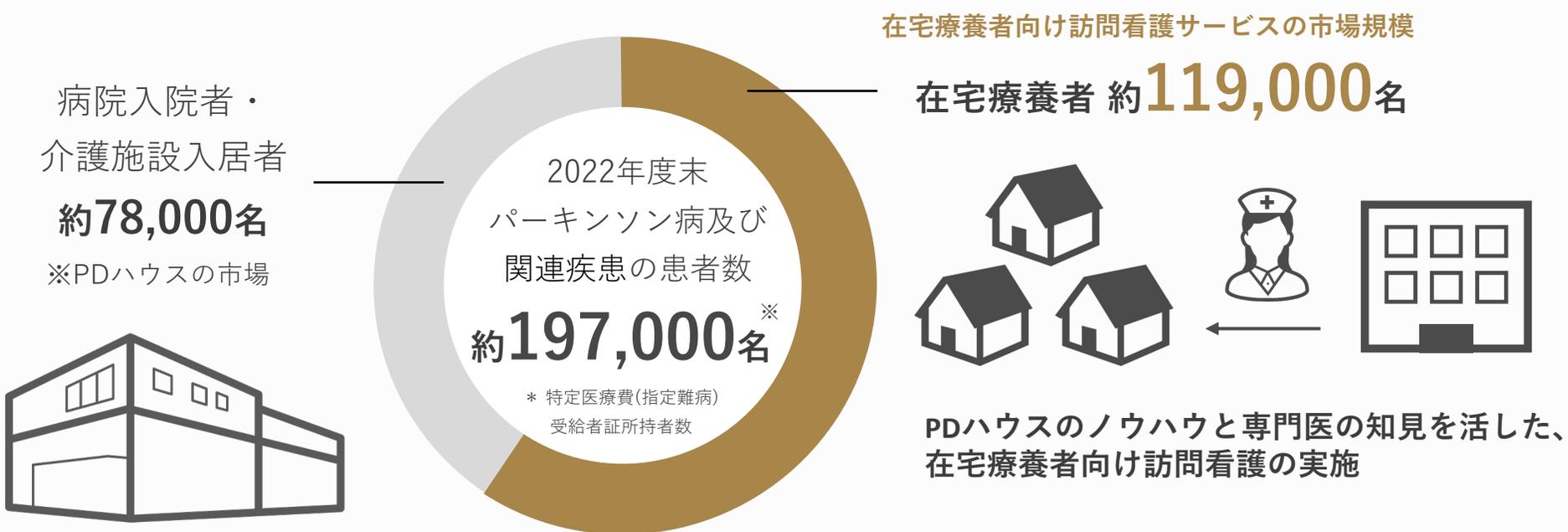
パーキンソン病に特化した食と栄養をお届けできるように、PDハウス独自のメニューを展開



# パーキンソン病に特化した在宅訪問看護事業

## ■ 在宅訪問看護事業による新たな収益基盤の構築

施設入居者だけでなく在宅療養者にもサービスを開始



※ パーキンソン病及び関連疾患の患者数：厚生労働省「2022年度衛生行政報告例」  
パーキンソン病(ホーエン・ヤール3~5)の患者数約143,000名、  
関連疾患(進行性核上性麻痺、大脳皮質基底核変性症、多系統萎縮症、脊髄小脳変性症)の患者数約54,000名

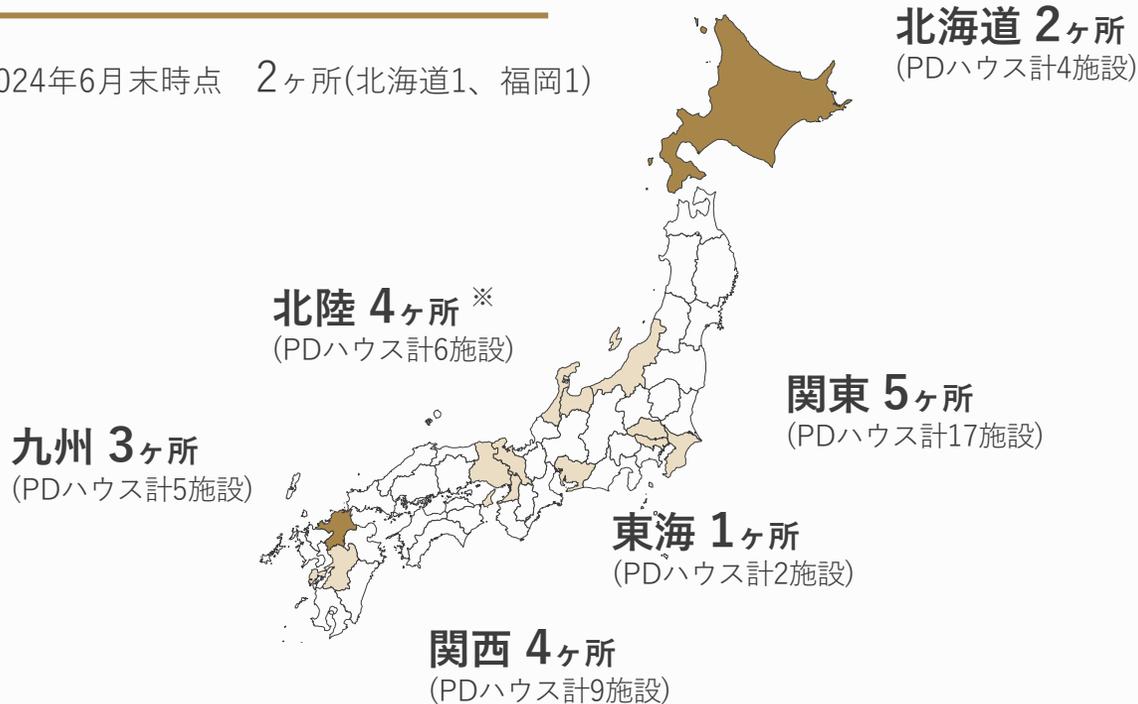


# パーキンソン病に特化した在宅訪問看護事業

## 2024年6月北海道と福岡で在宅療養者向け訪問看護事業の開始 全国の19ヶ所で在宅療養者向け訪問看護事業を開始予定

### PDハウス訪問看護ステーション

2024年6月末時点 2ヶ所(北海道1、福岡1)



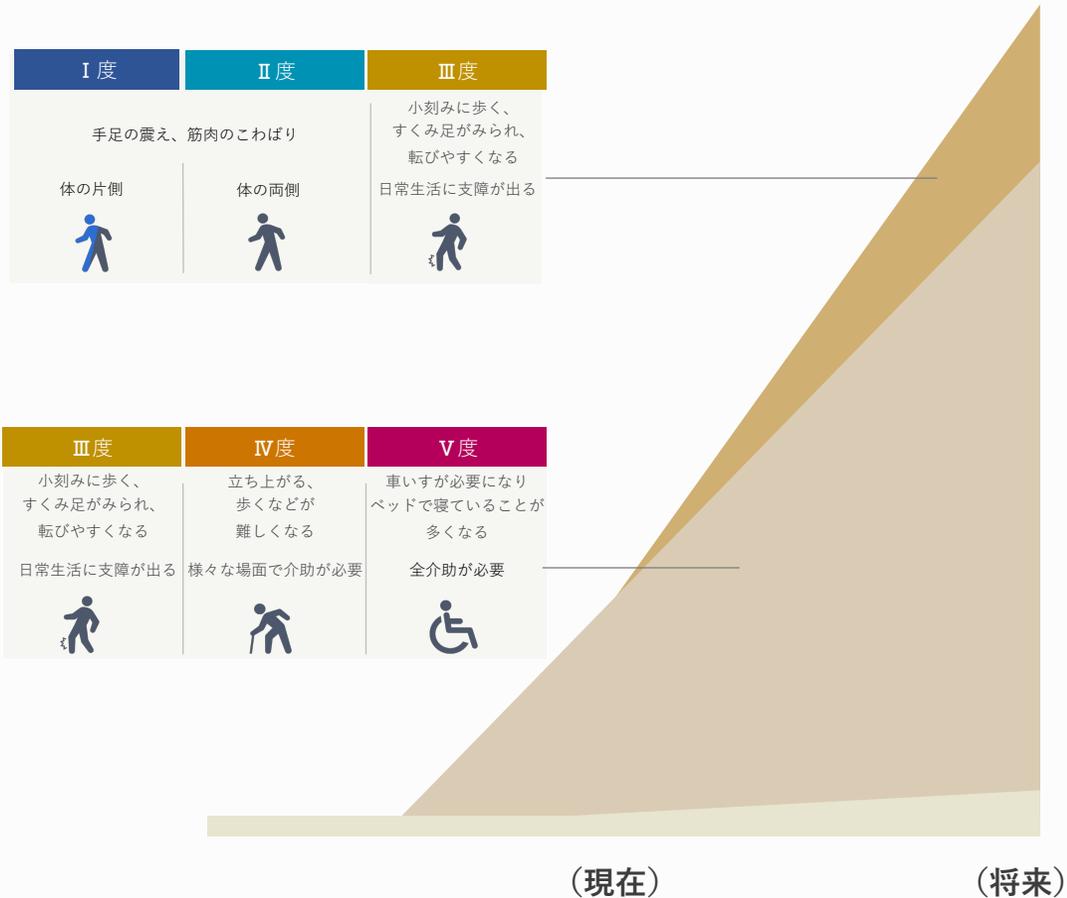
### 【訪問看護師の日中の対応例】





# 今後の展開

## ■ パーキンソン病軽度者向けサービスの開始により、PDハウスの集客体制も盤石に



### 在宅療養者向け訪問看護事業

- ・施設(PDハウス)に入居するパーキンソン病患者だけでなく、在宅療養者に向けたサービスを開始
- ・PDハウスで培ったノウハウを幅広い在宅療養者向けに展開

### PDハウス

- ・経営戦略の中心に位置づけ、競合他社に追随を許さないパーキンソン病専門施設として、提供サービスの質を向上
- ・370名を超える待機者への早期アプローチを目的として、開設計画を加速
- ・在宅療養者向け訪問看護を開始することで**潜在的な施設入居希望者を把握**

### 介護サービス

北陸地区のデイサービス、医療特化型住宅事業は従来からの施設運営を維持



# 人材育成の継続強化

- 2025年3月期新規開設12施設のリーダー層（施設長、主任）36名は既に充足
- 各職種、階層別に教育体制を整備、年間を通して人的資本強化を継続

## 1. リーダー（施設長、主任）対象

	内容	頻度	時間(1回あたり)
1	階層別のマネジメント研修	施設長：年6回 主任：年4回	4時間
2	虐待防止、内部統制、労働法規に関するコンプライアンス強化研修	年12回	1時間

## 2. 全スタッフ対象

### 基礎教育

	内容	頻度	時間(1回あたり)
1	入社時研修（OJT研修）	入社時	14日間
2	理念研修 （新規開設時に社長より直接経営理念および会社方針について説明）	入社時	2.5時間
3	職種別フォロー研修（看護職、介護職、リハビリ職）	年12回	1時間

### 専門教育

	内容	頻度	時間(1回あたり)
1	順天堂大学医学部 脳神経内科医によるパーキンソン病医療に関する勉強会制度	年6回	1時間
2	コンプライアンス研修（虐待防止等 ※施設・居室に見守りカメラ設置により牽制）	年12回	1時間
3	社内資格PDライセンス制度		

20頁詳細



# 人材育成の継続強化

パーキンソン病のスペシャリスト集団の育成を目的に、PDライセンス制度を導入

## PDライセンス 3級取得者数

2024年3月末

847人(取得率44%)



2024年6月末

1,485人(取得率66%)

監修

元福岡大学 教授

坪井 義夫 教授

関西医科大学 教授

高橋 牧郎 教授

等級	1 級 (初回2025年8月試験実施)	2 級 (初回2025年2月試験実施)	3 級 (試験実施中)
到達スキル	パーキンソン病の病態とケアに必要な他職種の役割を理解している (病態：症状を引き起こすメカニズム)	パーキンソン病の病態とケアに必要な自職種の役割を理解している	PDハウスでよく見る症状・リスクを理解している
認定期間	年 1 回 更新月に試験を受ける	年 1 回 更新月に試験を受ける	—
更新方法	更新試験 (8月) 〈合格〉更新 〈不合格・未受験〉2 級	更新試験 (2月) 〈合格〉更新 〈不合格・未受験〉3 級	—
手当	〈正社員〉 10,000円/月 〈パート〉 61円/時間	〈正社員〉 3,000円/月 〈パート〉 18円/時間	—
受験資格	2 級取得者 (任意)	3 級取得者 (任意)	全従業員
試験頻度	年 1 回 (毎年8月)	年 1 回 (毎年2月)	毎月

二次元バーコードはダミーのため読み取りはできません。



# 貸借対照表

- 自己株式処分により純資産は45億円増加 (24年7月)
- 自己株式処分を考慮した自己資本比率は33%に (24年7月)

(単位：百万円)

	23/3末	24/3末	24/6末	24/3末 増減額
<b>資産</b>	<b>19,211</b>	<b>31,591</b>	<b>32,279</b>	<b>+687</b>
流動資産	5,425	7,504	6,936	△567
固定資産	13,786	24,086	25,342	+1,255
<b>負債</b>	<b>13,840</b>	<b>24,375</b>	<b>24,775</b>	<b>+400</b>
流動負債	3,240	7,729	6,143	△1,585
固定負債	10,600	16,645	18,631	+1,986
リース債務	8,794	13,344	13,277	△66
<b>純資産</b>	<b>5,370</b>	<b>7,215</b>	<b>7,503</b>	<b>+287</b>
<b>自己資本比率</b>	<b>27.9%</b>	<b>22.8%</b>	<b>23.2%</b>	<b>+0.4pt</b>



# 株主配当

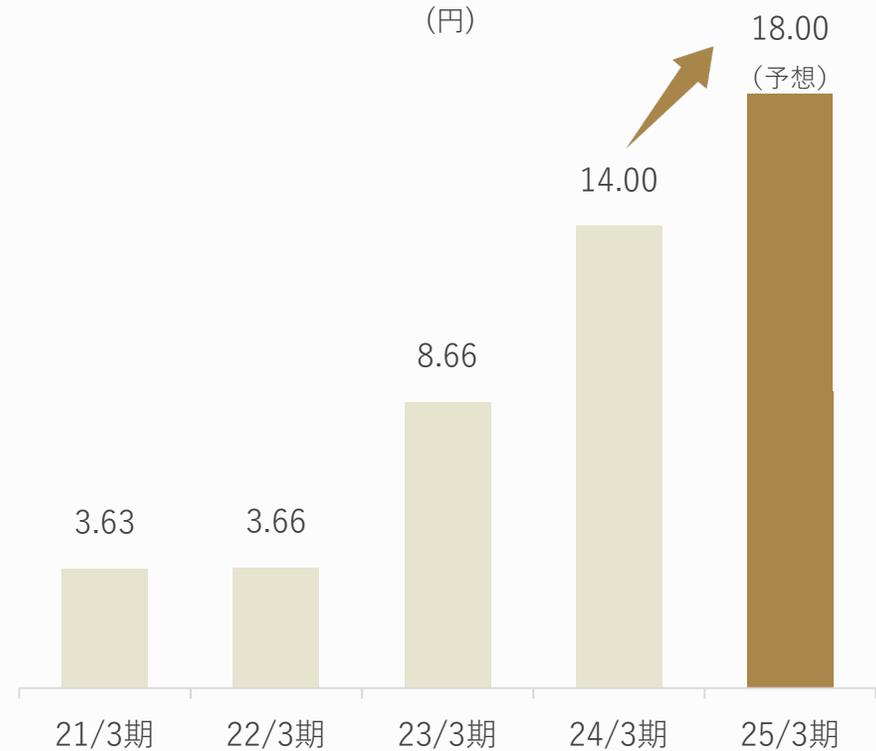
## ■ 2025年3月期株主配当予想 (前期比4円の増配)

- ・ 25年3月期の1株当たり配当金は18.00円(中間配当9.00円、期末配当9.00円)を計画しており、4円の増配予想です。
- ・ 前期に引き続き、**配当性向20%**を目安に利益成長に応じた配当を実施する予定です。

## ■ 株主配当方針

- ・ 当社は株主に対する利益還元を重要な経営上の施策としております。
- ・ 株主配当につきましては、安定性および継続性に配慮しつつ、業績動向、財務状況等を総合的に勘案して実施していく方針です。

## 1株当たり配当金<sup>※</sup>



※ 2021年3月25日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割、2022年2月15日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割、2023年4月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っているため、21/3期の期首に当該株式分割が行われたと仮定した場合の1株当たりの配当金の金額を記載

I. 2025年3月期第1四半期決算概況

II. 今後の見通し

III. 会社概要



# 今後の見通し 中期経営計画

## ■ 新たに計画した2027年3月期は、売上高500億円超、営業利益100億円超へ

(単位：百万円)

	2023/3期 実績		2024/3期 実績		2025/3期 予算		2026/3期 予算		2027/3期 予算	
	金額	売上高比								
売上高	13,716	100.0%	21,360	100.0%	28,807	100.0%	38,182	100.0%	50,721	100.0%
売上原価	9,971	72.7%	14,957	70.0%	19,983	69.4%	26,045	68.2%	34,914	68.8%
EBITDA	1,931	14.1%	4,357	20.4%	6,293	21.8%	9,273	24.3%	12,886	25.4%
販売費及び一般管理費	2,311	16.9%	2,876	13.5%	3,963	13.8%	4,761	12.5%	5,500	10.8%
営業利益	1,434	10.5%	3,526	16.5%	4,860	16.9%	7,374	19.3%	10,306	20.3%
経常利益	1,140	8.3%	2,973	13.9%	4,006	13.9%	6,216	16.3%	8,464	16.7%
PDハウス 累計施設数	20施設		31施設※		43施設		58施設		76施設	
新規施設数	8施設		9施設		12施設		15施設		18施設	
PDハウス定員数	1,047名		1,650名		2,325名		3,150名		4,140名	



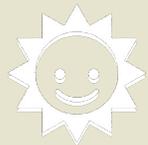
# 今後の見通し PDハウス開設計画

- 2027年3月期は施設数 **76施設**・定員数**4,140名**を計画
- 2030年3月期は施設数**140施設**・定員数**7,700名<sup>※</sup>**を計画

## PDハウス累計定員数の推移

■ 新規施設  
■ 既存施設





# 今後の見通し PDハウス開設計画

## ■ 大都市圏のドミナント戦略に加え、新規エリアの展開を加速

2025年3月期計画/43施設

12施設開設

北海道  
4施設

北陸(新潟県含む)  
6施設

関東  
17施設

九州  
5施設

関西  
9施設

東海  
2施設

九州  
6施設

中国  
1施設

2026年3月期計画/58施設

15施設開設

北海道  
5施設

北陸(新潟県含む)  
7施設

関東  
23施設

関西  
11施設

東海  
5施設

九州  
8施設

2027年3月期計画/76施設

18施設開設<sup>※</sup>

北海道  
5施設

北陸(新潟県含む)  
7施設

関東  
29施設

中国  
2施設

関西  
16施設

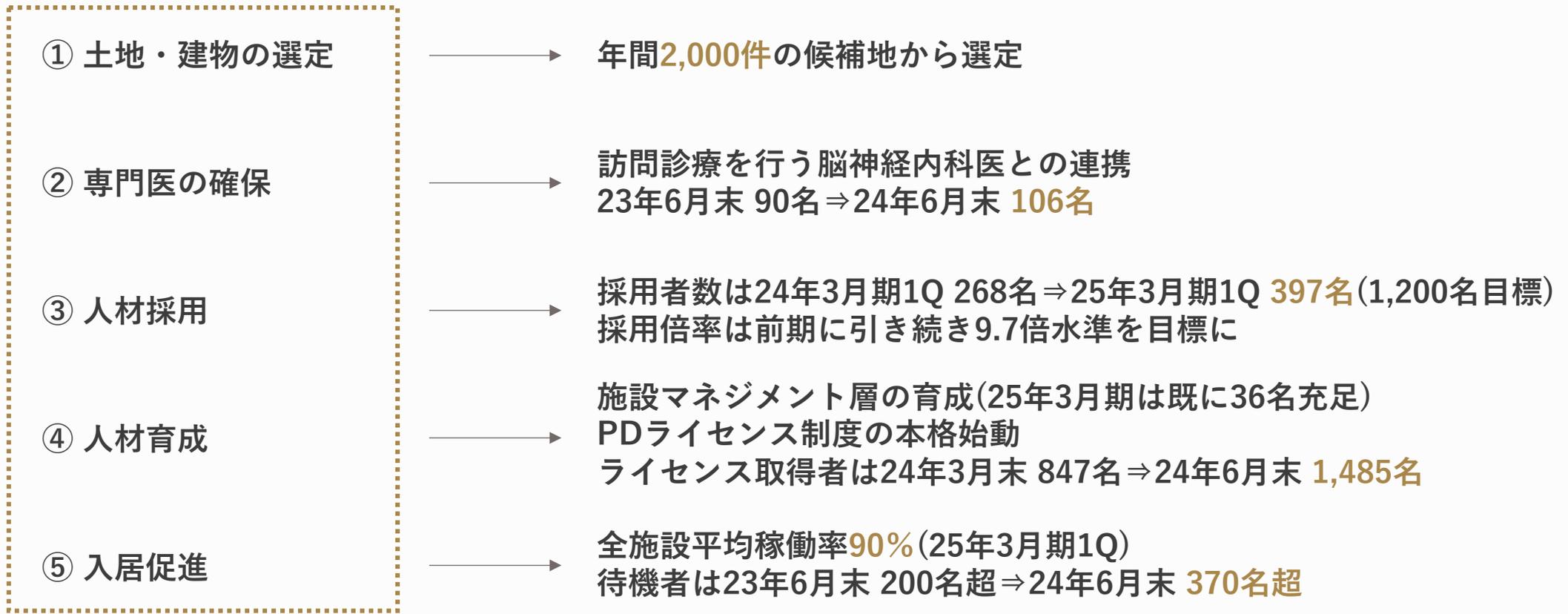
東海  
8施設

東北  
1施設



# 今後の見通し PDハウスの成長戦略

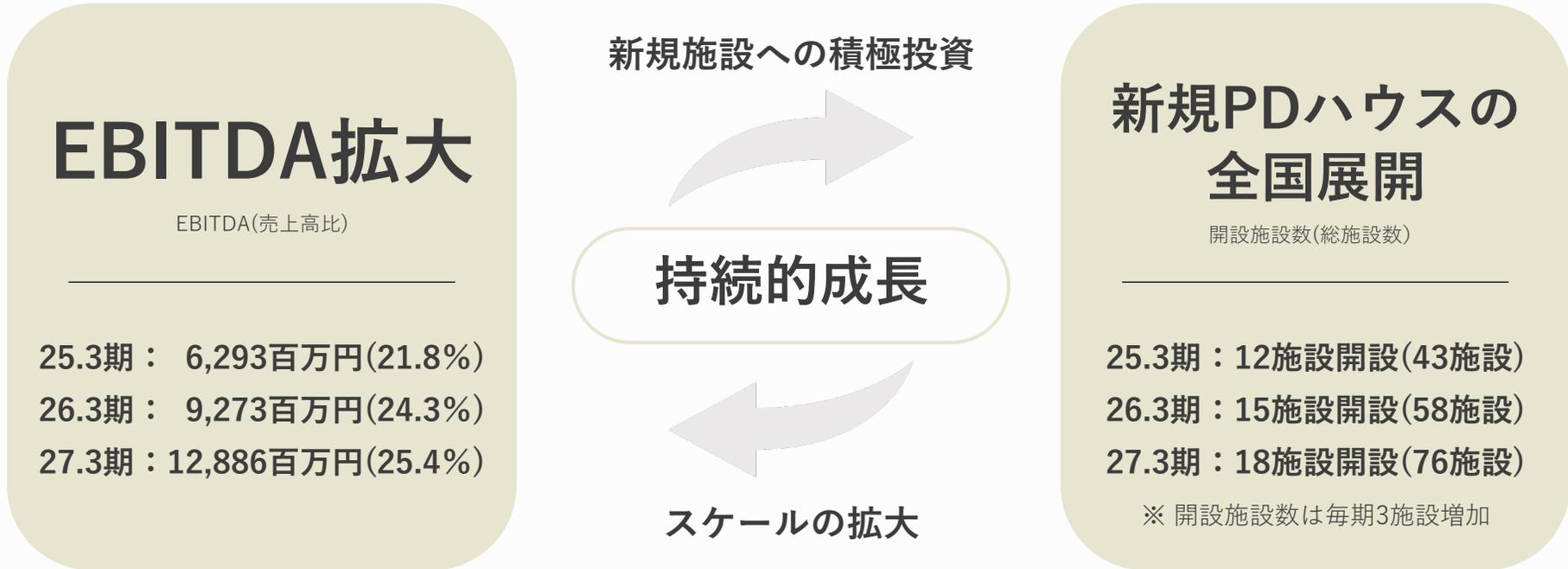
## ■ 2030年3月期に施設数**140施設**・定員数**7,700名**の展開を確実にする成長戦略





# 今後の見通し 持続的成長

- PDハウスの新規開設を加速し、パーキンソン病患者への早期アプローチ
- 開設から収益化までの期間を最適化させ、継続的な投資を可能に





株式会社 サンウェルズ  
SUNWELLS

# MANAGEMENT PHILOSOPHY

経営理念

## 自らが輝き、人を元気にする

私たちサンウェルズは、パーキンソン病専門施設「PDハウス」の運営をはじめとした事業展開により、医療・介護を取り巻く社会問題、社会課題の多面的な解決に挑戦します。

一つ.

### 福祉の職場をもっと魅力的に！

私たちサンウェルズは夢と誇りを持って志事に取り組み、皆があこがれる業界づくりにチャレンジします。

二つ.

### 介護サービスに進化と変化を！

私たちサンウェルズは介護の常識にとらわれることなく、利用者様の立場に立ったより良いサービスづくりにチャレンジします。

三つ.

### 未来を作る「人」を育成する！

私たちサンウェルズは仕事を通じてクリエイティブに発想し、自ら行動する「輝く大人」づくりにチャレンジします。

ミッション

# MISSION

I. 2025年3月期第1四半期決算概況

II. 今後の見通し

**III. 会社概要**



# 会社概要

社名	株式会社サンウェルズ 【英文名】 SUNWELS Co., Ltd.
本社	■ 東京本社 (東京都港区浜松町2丁目10-6 PMO浜松町III9階) ■ 金沢本社 (石川県金沢市二宮町15番13号)
支社	■ 大阪支社 (大阪府大阪市北区堂島1丁目1番5号 関電不動産梅田新道ビル10階) ■ 福岡支社 (福岡県福岡市博多区博多駅前3丁目27-24 博多タナカビル5階)
代表者	代表取締役社長 苗代 亮達
設立	2006年9月
資本金	35,000千円
従業員数	2,731名 (外、臨時雇用88名 / 2024年6月30日現在)※
事業内容	介護事業など (医療特化型住宅、デイサービス、グループホーム、福祉用具貸与等) ■ パーキンソン病専門介護施設「PDハウス」運営



# 会社概要 経営体制



## 代表取締役社長 苗代 亮達（なわしろ りょうたつ）

1973年7月石川県生まれ。大学在学中に腎臓病を患い中退を余儀なくされる。以降19歳から25歳までの間、闘病生活の為に定職に付けない日々を過ごす。病状から回復した26歳の時に自身の闘病生活から病気の方に役立つサービスを作りたいと思い、父の会社である(有) アイテムを引き継ぎ、介護保険対象者向けの住宅改修事業を開始する。以降2006年（株）ケア・コミュニケーションズ、2007年（株）セントラルケアスタッフ、2008年（株）サライを創業し、2011年3社合併し（株）サンウェルズを設立し、地域にない新しい介護サービスを次々に展開し現在に至る。

## 専務取締役 長山 知広（ながやま ともひろ）

作業療法士の資格を持つ。2009年に株式会社ケア・コミュニケーションズ（現：当社）に入社。2015年に当社取締役に就任。経営戦略部、不動産開発部、建築施工部、在宅訪問看護部、営業部、サービス開発部、採用部を管掌。

## 常務取締役 越野 亨（こしの とおる）

元地方競馬会所属騎手。2004年に株式会社アイテム（現：当社）に入社。2015年に当社取締役に就任。西日本運営部、東日本運営部を管掌。

## 常務取締役 上野 英一（うえの えいいち）

北陸銀行入行後、支店長、常任監査役を歴任。2009年にEIZO株式会社の常勤監査役に就任後、2016年に社外取締役就任。2018年に当社取締役に就任。総務部、経理部、人事部、教育部、リスク管理部を管掌。

## 社外取締役常勤監査等委員 山本 英博（やまもと ひでひろ）

元 北國銀行 取締役監査等委員

## 社外取締役監査等委員 畠 善昭（はたけ よしあき）

税理士法人畠経営グループ 会長

## 社外取締役監査等委員 中西 祐一（なかにし ゆういち）

中西祐一法律事務所 弁護士

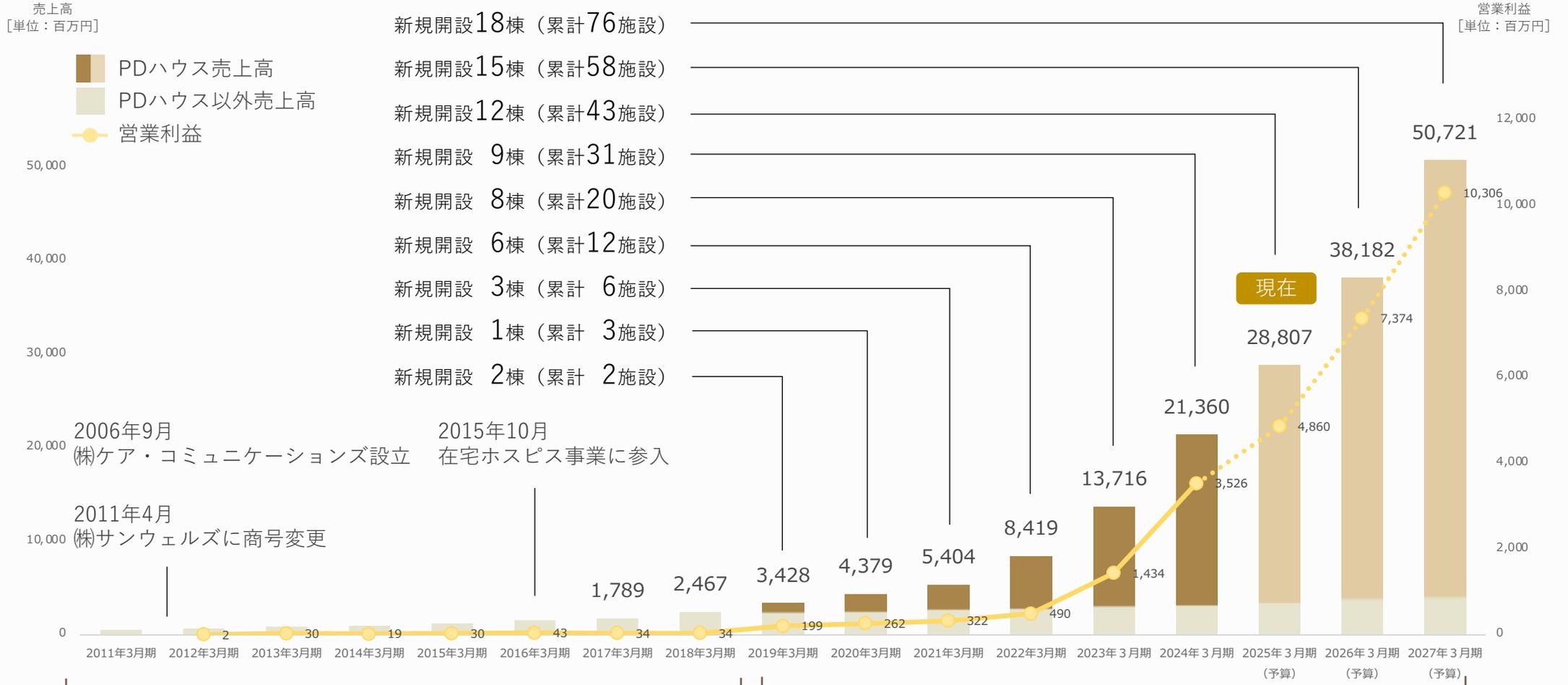
## 社外取締役監査等委員 中島 恵子（なかじま けいこ）

中島恵子税理士事務所 税理士



### PDハウス

- 新規開設18棟 (累計76施設)
- 新規開設15棟 (累計58施設)
- 新規開設12棟 (累計43施設)
- 新規開設 9棟 (累計31施設)
- 新規開設 8棟 (累計20施設)
- 新規開設 6棟 (累計12施設)
- 新規開設 3棟 (累計 6施設)
- 新規開設 1棟 (累計 3施設)
- 新規開設 2棟 (累計 2施設)



2006年9月 (株)ケア・コミュニケーションズ設立

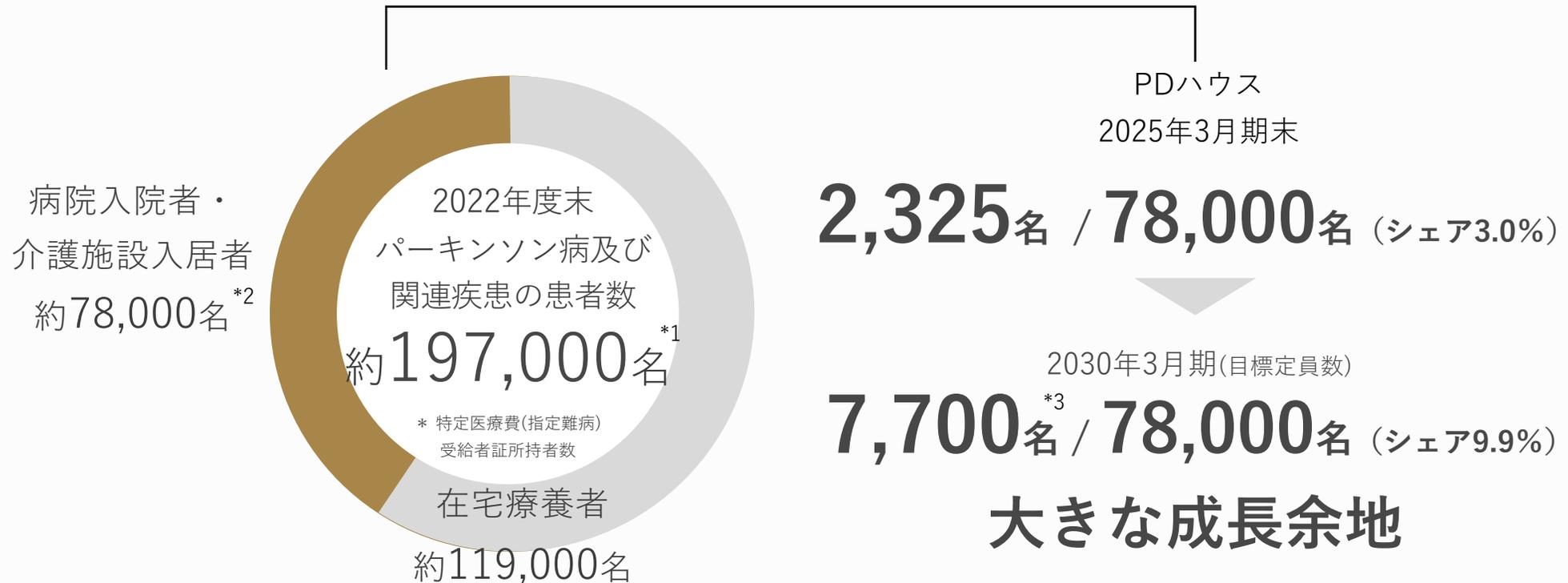
2015年10月 在宅ホスピス事業に参入

2011年4月 (株)サンウェルズに商号変更



## ■ PDハウスの新規開設によりパーキンソン病患者へ一日でも早く専門性の高いケアの提供を目指す

### PDハウスの市場規模と定員数の比較



\*1 パーキンソン病及び関連疾患の患者数：厚生労働省「2022年度衛生行政報告例」パーキンソン病（ホーエン・ヤール3～5）の患者数約143,000名、関連疾患（進行性核上性麻痺、大脳皮質基底核変性症、多系統萎縮症、脊髄小脳変性症）の患者数約54,000名

\*2 病院入院者・介護施設入居者数：厚生労働省「介護保険事業状況報告」の割合より、要介護度2～5の介護施設入居者累計数から試算(2023年3月現在)

\*3 施設の大型化に伴い、2030年3月期は1施設55床として140施設で7,700床を計画



# 会社概要 事業内容

## ■ PDハウス (全国で35施設運営 ※2024年6月末時点)

・パーキンソン病の方を対象とした専門施設「PDハウス」を主軸に運営

[入居対象者]

### パーキンソン病

- ・ 進行性核上性麻痺
- ・ 大脳皮質基底核変性症
- ・ 多系統萎縮症
- ・ 脊髄小脳変性症



## ■ 医療特化型住宅 (石川県・富山県で5施設運営)

- ・ 食事の提供その他の日常生活上必要なサービスを供与することを目的とする施設。
- ・ それぞれの事業所に訪問介護事業所と訪問看護事業所がある。
- ・ 基本的に生活の場の提供となり、同建物内の上記ステーションよりサービスを提供。

## ■ 福祉用具事業

- ・ 福祉用具の貸与 (介護保険・自費) および販売。
- ・ 住宅改修工事 (バリアフリー工事) 事業。

## ■ デイサービス (石川県内で6施設運営)

- ・ 施設に通っていただきながら生活指導・機能訓練・食事・入浴・健康チェックなどさまざまなサービスを日帰りで提供。

## ■ グループホーム (石川県内で2施設運営)

- ・ 9名×2ユニットの18名の定員を受け入れ。認知症を持たれている方が共同生活を行う施設。

## ■ 加圧トレーニング事業 (石川県内で2施設運営)

- ・ 加圧器具を使用したパーソナルトレーニングを行う。

PDハウス  
3つの特徴

- 1 パーキンソン病に特化した  
リハビリプログラム (専門医監修)
- 2 神経内科専門の医師による訪問診療
- 3 24時間体制の訪問看護・服薬管理



# 会社概要 パーキンソン病

脳内のドーパミン神経細胞の変性を主体とする進行性変性疾患で、国の指定難病である。症状は多岐に渡り、世界的にも根治する治療法は確立されていない。病状進行度を表すものとして、以下の表がある。

## ホーエン・ヤール重症度\*の変化 (\*パーキンソン病の進行度を示す指標)

Ⅰ度		Ⅱ度	Ⅲ度	Ⅳ度	Ⅴ度
手足の震え 筋肉のこわばり			小刻みに歩く、 すくみ足がみられ、 転びやすくなる 日常生活に支障が出る	立ち上がる、 歩くなどが 難しくなる 様々な場面で介助が必要	車いすが必要になり ベッドで寝ていることが 多くなる 全介助が必要
体の片側	体の両側				

介護サービスが中心

PDハウス入居対象者 = 介護保険 + 医療保険サービスが利用可能

治療における  
3つの課題

- 1 / 通いリハビリにも限度があり、入院以外は**毎日リハビリを受けられる場所がない**
- 2 / 病院に通うことに支障が出始め、**専門医による診察が受けられなくなる**
- 3 / 薬の量や頻度の増加に伴い**適切な服薬管理が難しくなる**



## 難病でも自分らしく生活できる施設「PDハウス」の全国展開

パーキンソン病専門施設で、3つの課題を解決するサービスを提供

### パーキンソン病治療 3つの課題

- 1 / 毎日リハビリを受けられる場所がない
- 2 / 専門医による診療が受けられなくなる
- 3 / 適切な服薬管理が難しくなる



### PDハウスの3つの サービスで課題を解決

- 1 / パーキンソン病に特化したリハビリプログラム (専門医監修)
- 2 / 神経内科専門の医師による訪問診療
- 3 / 24時間体制の訪問看護・服薬管理



# 会社概要

## 1 / パーキンソン病に特化したリハビリプログラム「専門医監修」

### ■ 神経内科の専門医師監修によるリハビリプログラムを状態に応じ提供し評価

#### 施設内での生活スケジュール例

6:30	起床
7:30	朝食
9:30	■ 個別リハビリ (30分)
10:00	趣味時間
11:00	■ 集団リハビリ (30分)
11:30	■ 口腔嚥下体操 (30分)
12:00	昼食
13:00	レクリエーション
14:00	■ 集団リハビリ (30分)
15:00	入浴
16:00	■ 集団リハビリ (30分)
17:30	夕食
20:00	就寝

1日最大150分のリハビリ提供が可能

#### ■ 個別リハビリ

- ・ ガイドラインをベースに、状態に合う最適なプログラムを提供
- ・ 5つの評価項目に沿って状態管理

- ① UPDRS - Part III (病状の進行度の評価)
- ② PDQ - 39 (生活の質の向上度の評価)
- ③ BI (日常生活動作の評価)
- ④ MMSE (認知機能の評価)
- ⑤ InBody (筋肉量の測定)



#### ■ 集団リハビリ

- ・ 大学病院監修の体操やパーキンソン病に必要な動き・要素を取り入れた運動中心のメニューを実施
- ・ ゲーム感覚で行え、医学的にも症状改善の効果が検証済





# 会社概要

## 2 / 脳神経内科専門の医師による訪問診療の連携強化

■ 全国の脳神経内科病院と連携し、訪問診療を行う事で専門的治療を継続できる体制を整備  
国内約600名(推定)の訪問診療対応医の内100名超と連携を実現、今後も開設に伴い拡大

全国で106名の脳神経内科医と連携 (2024年6月30日時点)

■ 北陸エリア 12名(以下の医師を含む)

脳神経内科医 濱口 歩 金沢はっぴいクリニック  
脳神経内科医 疋島 貞雄 金沢大学付属病院  
脳神経内科医 柴田 修太郎 金沢大学付属病院

■ 関西エリア 16名(以下の医師を含む)

脳神経内科医 松本 禎之 脳神経ホームクリニック  
脳神経内科医 宮本 将和 北野病院  
脳神経内科医 柏谷 嘉宏 富永病院

■ 九州エリア 17名(以下の医師を含む)

脳神経内科医 坪井 義夫 つつみクリニック  
脳神経内科医 魚住 武則 中間メディカル

■ 北海道エリア 5名(以下の医師を含む)

脳神経内科医 有吉 直充 札幌記念病院

■ 関東エリア 50名(以下の医師を含む)

脳神経内科医 杉山 雄亮 プライムクリニック  
脳神経内科医 荻野 裕 豊田内科クリニック  
脳神経内科医 富樫 尚彦 優心クリニック  
脳神経内科医 江浦 寛子 あだち在宅診療所

■ 東海エリア 6名(以下の医師を含む)

脳神経内科医 稲垣 智則 もくれんクリニック  
脳神経内科医 鳥居 潤 なごや脳神経在宅クリニック



# 会社概要 3 / 24時間体制の訪問看護・服薬管理

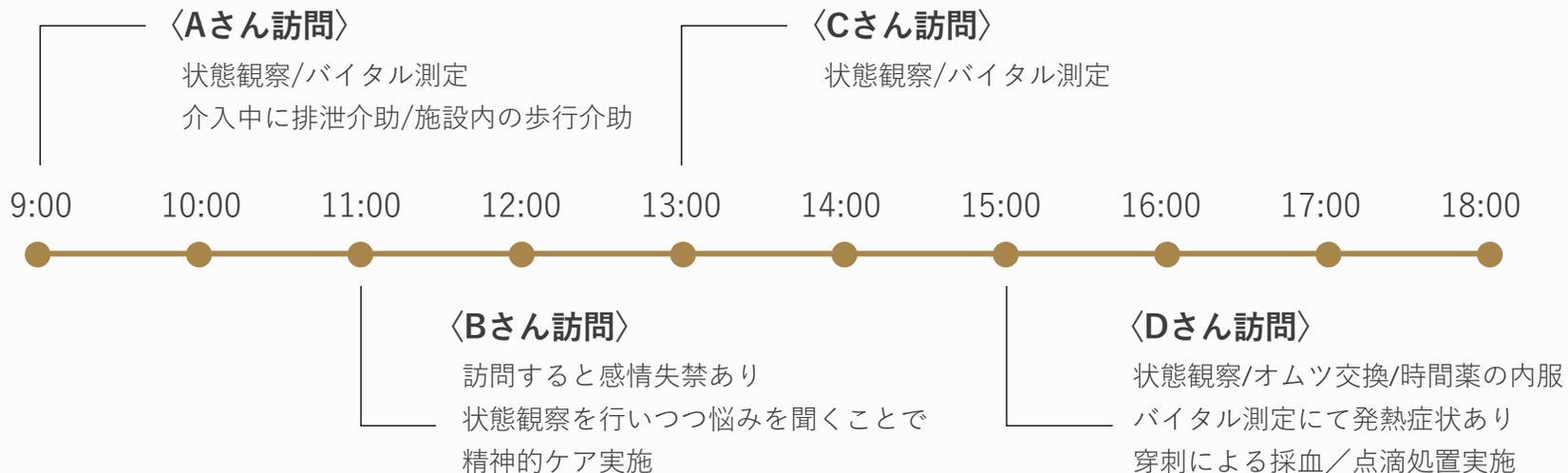
■ 看護師が24時間365日対応することで、細かな症状の変化や副作用の状況も適切に把握し服薬管理が可能。重度になっても「急変時や看取りにも対応出来る体制」を整備。

## ■ 看取り対応者数

2023年4月～2024年3月	358名
1施設あたり月間平均	1.4名



### 【日中の対応例】





# 会社概要

## 大学病院・専門病院との共同研究

### ■ 全国のパーキンソン病研究のトップドクターと研究を進め、より効果的な新サービスの創造を目指す

#### 運営顧問

京都大学 **高橋 良輔** 特任教授

パーキンソン病の分子メカニズム解明とそれに基づく治療法開発を行う専門医。

- ①パーキンソン病に関連する研究会の運営指導・監修

#### 共同研究

関西医科大学 **高橋 牧郎** 教授

パーキンソン病に関する研究会・講演会を多数開催。関西を代表するパーキンソン病専門医。

- ①e-sportプログラムを用いた効果検証
- ②PD専門人材育成のための教育システム構築に関する研究

#### 運営顧問・共同研究

元福岡大学 **坪井 義夫** 特任教授  
つつみクリニック福岡

福岡県を中心に約600人名の患者をフォロー。トータルケアによって病の進行を食い止める研究を進めている。福岡県パーキンソン病友の会顧問。

- ①症例カンファレンス
- ②多職種連携（PDハウスクエアモデル）の検証
- ③PDダンスの効果検証

#### 運営顧問・運営連携

脳神経ホームクリニック  
**松本 禎之** 院長（元北野病院副院長）

- ①在宅医の神経内科医チームとの連携体制を構築

#### 共同研究

(株)ALAN（慶応大学医学部発ベンチャー企業）

代表取締役 **近藤 崇弘** 医師

- ①運動機能評価システムの開発

#### 運営顧問・共同研究

順天堂大学 **服部 信孝** 教授

パーキンソン病研究において、「Essential Science Indicators」1996年～2006年の論文引用回数は世界第7位。世界的第一人者として高く評価される。全国パーキンソン病友の会顧問。

- ①3次元遠隔診療システムの検証
- ②ウェアラブル機器による活動検知の検証
- ③転倒検知、転倒減少への取り組み
- ④パーキンソン病関連オンラインセミナー開催





# 会社概要 専門サービスの開発

## ■ トップドクターとの共同研究を通じてパーキンソン病のケアにおける新たなサービスを開発中

### ホログラム 遠隔診療システム



2021年に順天堂大学が世界初\*リリースした3次元遠隔診療システム「ホロメディスン」の試験運用を実施

〈期待される効果〉

- ①全身観察が可能となり、より精度の高い診察が可能となる。
- ②通院および待ち時間における身体的苦痛の解消。

2022年7月1日より  
順天堂大学と金沢のPDハウス  
をつないで試験運用実施中

\*2022年6月2日に記者会見によりリリース

### 転倒検知システム



転倒検知システム「ミライアイ」を用いた転倒の要因分析研究を共同実施中

〈期待される効果〉

- ①転倒パターン把握することで転倒を未然に防ぐ。
- ②転倒要因の分析による最適な環境調整の実施。

2024年5月1日導入、検証実施中

### 運動機能評価 システムの開発



AIを用いたシステムでパーキンソン病の進行状況を見える化

〈期待される効果〉

- ①定量的な情報共有で治療・ケア・リハビリの質が向上。
- ②進行状況の可視化により、リハビリやケアに対するモチベーションが向上。

2023年11月30日にシステムを開発し、  
試験運用実施中



## 会社概要 海外の大学病院との連携

### ■ 2024年フロリダ大学病院と共同研究開始



2023年5月フロリダ大学病院視察

全米一のパーキンソン病治療実績を誇るフロリダ大学と、ビッグデータを活用したリハビリプログラムの共創、高齢者への専門ケアの必要性の実証を目的とした共同研究を開始。



# サステナブル基本方針（ESG）

## Environment

（環境）



### 環境に配慮したPDハウス

- ・自家消費型太陽光発電の導入
- ・GHG(温室効果ガス)排出量の算定
- ・クラウド活用によるペーパーレス化推進
- ・長期使用可能なステンレス製ゴミ箱の配置
- ・99%再生材ごみ袋使用によりCO<sub>2</sub>排出削減に貢献

## Social

（社会）



### パーキンソン病患者の看護・介護のニーズに応えるPDハウス

- ・社会課題の解決を目的とするソーシャルローンによる資金調達を実施
- ・社内資格制度による介護従事者の知識・技術の高水準化・均一化、大学病院と定期勉強会実施
- ・健康経営優良法人認定制度への取り組み開始

## Governance

（ガバナンス）



### ガバナンス・リスクマネジメント・コンプライアンスの徹底

- ・取締役の半数を独立社外取締役としガバナンス強化を図る
- ・不正請求対策の構築（施設長、本社管理部門による二重チェック体制）
- ・施設・居室に見守りカメラ設置（不適切ケア牽制）
- ・金融商品取引法に基づいた監査法人による監査等、第三者評価機関による評価を実施



## サステナブルな課題への取り組みを本格化

Environment  
Social  
Governance



## 免責事項・お問い合わせ

本資料に記載されている当社に関する予想、計画等の将来に関する記述は、いずれも当社が現時点で把握している情報に基づく予想値です。これらは経済環境、規制緩和などの不正確な事象の影響を受けることで実現しない可能性があります。また、この資料に記載されている予想が計画等将来に関わる記述とは異なる場合があることをご了承ください。

---

株式会社サンウェルズ

<https://sunwels.jp/pdh/>

お問い合わせ

<https://sunwels.jp/pdh/contact/>